



就職内定率 95.7%

それ以上 その先の 就職支援へ

—理想の社会人をめざすための自分形成—

全国平均を大きく上回る
就職率の理由とは。

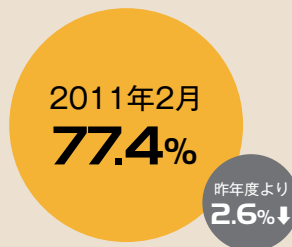
厚生労働と文部科学両省が発表した2011年の大卒者就職内定率（2月1日時点）は、前年より2.6ポイント低下の77.4%。岐阜大学では、これを大きく上回り、同時期では92.5%、3月末時点では95.7%と高い数字をマークしています。

現在、世の中全体が「就職難」に彩られ、かつ今回の東日本大震災の影響が懸念される中、不安を抱く学生も多いと思いますが、今年度も昨年以上の就職率が収められるよう、大学として最大限のサポートを行っていきます。

さて、2011年度の就職状況を本学なりに振り返り分析してみますと、学部や学科によって異なるものの、昨年度よりも全体的に男子と女子の内定率の差を埋めつつ、就職内定率をわずかに上昇させることができました。また本学学生に対する採用企業側の評価としてよく耳にするのが、「基礎学力はもちろんのこと、社会人としての基盤的能力（コミュニケーション力や判断力、行動力、構想力など）を備えた真面目な人物」というもの。これは、長年培ってきた本学ならではの教育方針とシステムが、学生の中に十分浸透していることの表れであると自負しています。

日本全国の就職状況

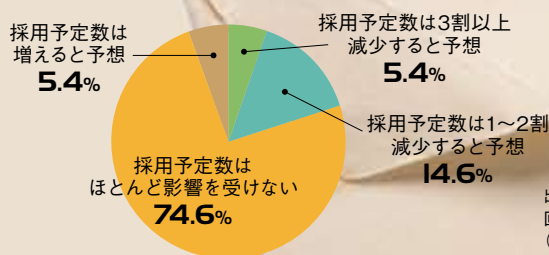
就職内定率の全国平均



出典／文部科学省・厚生労働省
平成22年度「大学卒業生の2月1日
現在の就職内定状況調査の推移」

東北地方太平洋沖地震の新卒採用に関する影響

Q. 今回の震災の影響で、貴社の2012年度新卒採用人数が影響を受けると予想されていますか。（人事担当者への質問）



出典／HRプロ株式会社
回答件数：130件
(3月28日集計時点)

岐阜大学の就職状況

岐阜大学就職内定率



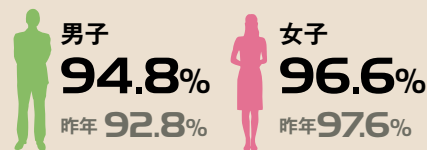
*岐阜大学2011年3月卒業者の
3月末現在の就職内定率

内訳

求職者数 **789人**

就職内定者数 **755人**

男女別就職内定率



県内就職者数
314人

今までの就職支援の機能が
より豊かな内容に進化する。

近年、経済のグローバル化が進み、企業間競争が増す中、採用する人材に対する企業の要求度は次第に高くなっています。そのため、今年度の企業の採用計画数（採用を予定している人数）は、公式では昨年並みとの見方ではありますが、様々な角度から慎重な選考が行われるだろうと予想されます。

こうした背景を踏まえ、本学では、これまで以上の「就職支援」を行うことを決意し、新たに「キャリアセンター」を設立することとなりました。ここでは、既存の就職支援体制に加え、各学部学科の教員が個別に授業科目に取り入れてきた「キャリア形成（就業意識の形成）教育」を体系化し、すべての学生に行き渡る仕組みづくりを行っていきます。

岐阜大学の教育目標のキーワードは「高度な専門職業人の育成」。それは単に就職という、社会の入口に立つことだけを目標としているわけではなく、本学の学生全員の就職後の人生を見据えたうえで設定されたテーマです。

学生一人ひとりに、どう自分を目指すのか、またいかに社会の一員として役立つ人間になるかを意識させるために、岐阜大学の新たな就職支援が始まります。